新日軽

施工説明書番号 ME-1901

改－2

# シャッターゲート用
# シャッターゲートひさし施工説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## 注意事項

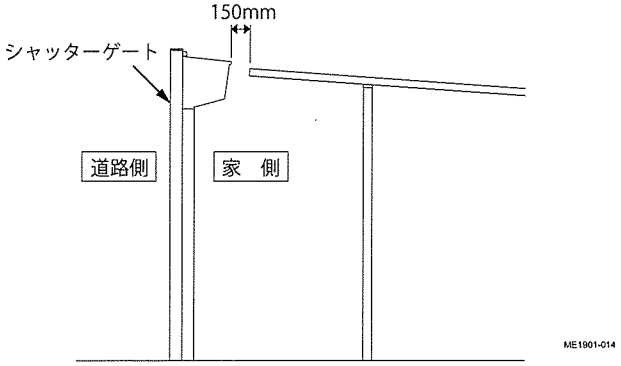
施工にあたっては次の点をご注意ください。

### ◎商品について

●本商品は、シャッターゲート高さを基準にカーポートの埋め込み寸法を変更しています。カーポートの高さを基準にする場合は、シャッターゲートを特注対応してください。
●本施工説明書では、カーポートの標準柱位置での埋め込み寸法を指示しています。柱移動する場合は、カーポートの軒先高さが変わりますので埋め込み寸法を調整してください。
●シャッターゲートの埋め込み寸法は変更できません。
●シャッターゲートひさしは、シャッターケースとカーポートを覆うひさし形状のものです。強い雨や、風を伴った雨の場合は、ひさしとの隙間より雨水が浸入する場合があります。

### ◎設置場所・位置の注意事項

●本商品は、シャッターゲート「1 台用・単体」および「2 台用・単体」へ取付けることができます。
●施工場所に商品が寸法的に納まることを確認してください。
●シャッターケースとカーポートの間隔は必ず 150mm にしてください。150 mm未満の場合は、シャッターのメンテナンスができなくなります。（※「シャッターゲート」→「ひさし」→「カーポート EDGE」の順に施工を行うことを条件に、間隔を 150 mmとしています。）

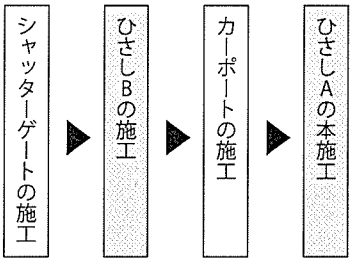



### ◎施工時の注意事項

●本商品の施工は、エクステリアの工事店様が行ってください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●コーキングは指定箇所に確実に行ってください。
●コーキング材は現場手配してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

### ◎施工の順序

●施工は、「シャッターゲート」→「ひさし B（本商品）」→「カーポート EDGE」→「ひさし A（本商品）の本施工」の順に行ってください。




この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|---|---|---|---|
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 | ❗ | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

⚠注意
●ひさしの積雪が 20cm を超えないうちに必ず雪おろしをしてください。
●ひさしに乗ったり、揺すったりしないでください。

❗ 本商品は、新日軽の「シャッターゲート」専用品です。他シャッター商品へは設置しないでください。

❗ 本商品は「カーポート EDGE（両支持）」専用品です。他カーポート商品との組合わせは行わないでください。

# もくじ


施工工事店様、販売店様へのお願い……1
梱包明細……2
対応品の確認……2
納まり図……3

A. シャッターゲート本体へ取付ける前の手順……6
1. 部材の切断・孔加工……6
　1－1部材の切断……6
　1－2部材の孔加工……7
　1－3水切り材のはめ込み……7
2. シーラーの貼付け……8
3. ひさし B と吊金具の組立て……9
　3－1 1台用の場合……9
　3－2 2台用の場合……10
4. ひさし端部キャップの取付け（※シャッターゲート S 型・R 型の場合）..11
B. シャッターゲートへのひさしの取付け……11
5. 水切りの取外し……11
6. 吊金具の取付け……12
　6－1 1台用の場合……12
　　6-1-1吊金具の取付け……12
　　6-1-2防水処理（コーキング）……14
　　6-1-3上板カバーの取付け……15
　6－2 2台用の場合……16
　　6-2-1吊金具の取付け……16
　　6-2-2防水処理（コーキング）……17
7. 水切りの取付け……18
8. ひさし A の仮固定……18
9. カーポートの施工……19
10. ひさし A の本施工……20
11. ひさし端部キャップの取付け……20


# 梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

## ● 1台用

表内の（　）は個数、[　] は予備数を示しています。

| 梱包内容 |
|---|
| ひさし A（1）・ひさし B（1）・水切り材（1）・シーラー（3） |
| 吊金具（2）・止水シート（2）<br>スペーサー(2)・M6角ナット(4)・M6×16十字穴付Wセムスボルト(4) |
| φ4×16 セルフドリリングビス（4）<br>φ4×20 セルフドリリングビス（防水ワッシャー付き）（2） |
| φ4×16 セルフドリリングビス（2） |
| 上板カバー（2）<br>φ4×13 細目セルフドリリングビス（防水ワッシャー付き）（8） |
| M6×16 六角ボルト（4）・M6 用平座金（4）<br>戻り止め付き M6 ナット（4 [1]） |
| ひさし端部キャップ（2）・φ4×25 トラスタッピン 2 種（4） |

## ● 2台用

表内の（　）は個数、[　] は予備数を示しています。

| 梱包内容 |
|---|
| ひさし A（1）・ひさし B（1）・水切り材（1）・シーラー（3） |
| 吊金具（3）・防水テープ（1）<br>スペーサー S（3）・M6×25 十字穴付 W セムスボルト（6）<br>M6 用平座金（12）・M6 ナット（6）・戻り止め付き M6 ナット（6 [2]） |
| φ4×16 セルフドリリングビス（9）<br>φ4×20 セルフドリリングビス（防水ワッシャー付き）（9） |
| M6×16 六角ボルト（6）・M6 用平座金（6）<br>戻り止め付き M6 ナット（6） |
| ひさし端部キャップ（2）・φ4×25 トラスタッピン 2 種（4） |

コーキング材は現場手配してください。

# 対応品の確認

●施工前に、本商品の対応品を確認してください。
●W＝シャッターゲート･ひさし間口、D＝カーポート間口、H＝高さ、L＝奥行を示しています。

●下記サイズの「シャッターゲート D・S・R・M 型（単体納まり）」と「カーポート EDGE（両支持タイプ）」を組合わせることができます。（※サイズが入っていない組合わせはできません。）
●「カーポート EDGE」の柱埋め込み寸法を、下表の「A 寸法」に合わせてください。そのときの梁下寸法は「B 寸法」となります。

## ●「カーポート EDGE」と「シャッターゲートひさし」の組合せ表

(mm)

| 「カーポート EDGE」両支持 ＼ 「シャッターゲート D・S・R・M 型」 | | 間口（D）：30・54・58 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 奥行（L）：51 | | | | 奥行（L）：58 | | | |
| | | 長柱 | | 長々柱 | | 長柱 | | 長々柱 | |
| | | A | B | A | B | A | B | A | B |
| 1台用 | 高さ（H）：23 | 675 | 2175 | — | — | 670 | 2180 | — | — |
| 間口（W）：30 | 高さ（H）：26 | — | — | 725 | 2475 | — | — | 720 | 2480 |
| 2台用 | 高さ（H）：23 | 530 | 2320 | — | — | 525 | 2325 | — | — |
| 間口（W）：50・55 | 高さ（H）：26 | — | — | 580 | 2620 | — | — | 575 | 2625 |

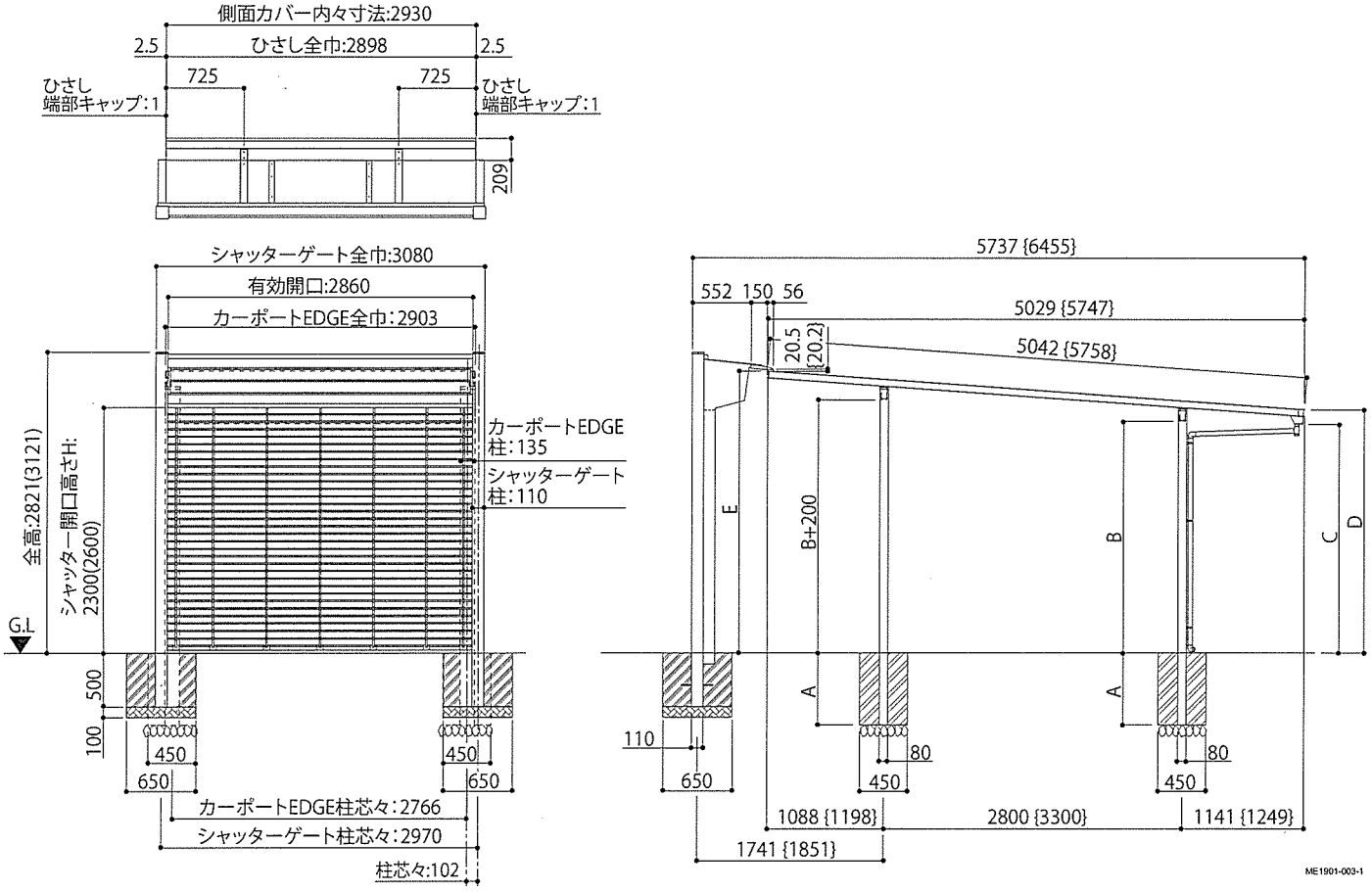
※「カーポート EDGE」長々柱は受注生産品です。
※シャッターゲート W:30 は、カーポート「EDGE」D:30 の対応となります。
※シャッターゲート W:50 は、カーポート「EDGE」D:54 の対応となります。
※アルミスラットの場合は、製作限界範囲にご注意ください。
※シャッターゲート W:55 は、カーポート「EDGE」D:58 の対応となります。
※シャッターゲート S 型・R 型・M 型には、W:55 はありません。

# 納まり図

●シャッターゲートとカーポートの間隔を 150mm にあわせてください。
※ 150mm 未満であると、シャッターゲートのメンテナンスができなくなります。
●W＝シャッターゲート･ひさし間口、D ＝カーポート間口、H＝高さ、L ＝奥行を示しています。

## 1台用

※ 本図は、シャッターゲート D 型、間口 W:30・高さ H:23 ステンレスグリルを示しています。
※ 本図は、シャッターゲートひさし、間口 W:30 を示しています。
※ 本図は、カーポート「EDGE」、長柱タイプ、間口 D:30・奥行 L:51 を示しています。
※（ ）内寸法は、シャッターゲート高さ H:26 の場合を示しています。
※｛ ｝内寸法は、カーポート奥行 L:58 の場合を示しています。



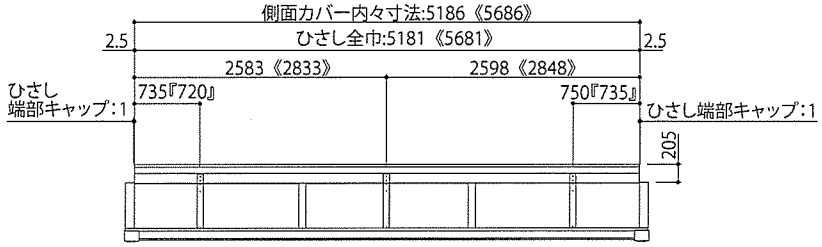

●カーポート柱寸法表

(mm)

| サイズ | 柱種類 | A 寸法 | B 寸法 | C 寸法 | D寸法 | E 寸法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 高さ H:23・奥行 L:51 | 長柱 | 675 | 2175 | 2146 | 2285 | 2644 |
| 高さ H:26・奥行 L:51 | 長々柱 | 725 | 2475 | 2446 | 2585 | 2944 |
| シャッター開口高さ H に対する公式 | | | H － 125 | H － 154 | H － 15 | H ＋ 344 |
| 高さ H:23・奥行 L:58 | 長柱 | 670 | 2180 | 2157 | 2295 | 2644 |
| 高さ H:26・奥行 L:58 | 長々柱 | 720 | 2480 | 2457 | 2595 | 2944 |
| シャッター開口高さ H に対する公式 | | | H － 120 | H － 143 | H － 5 | H ＋ 344 |

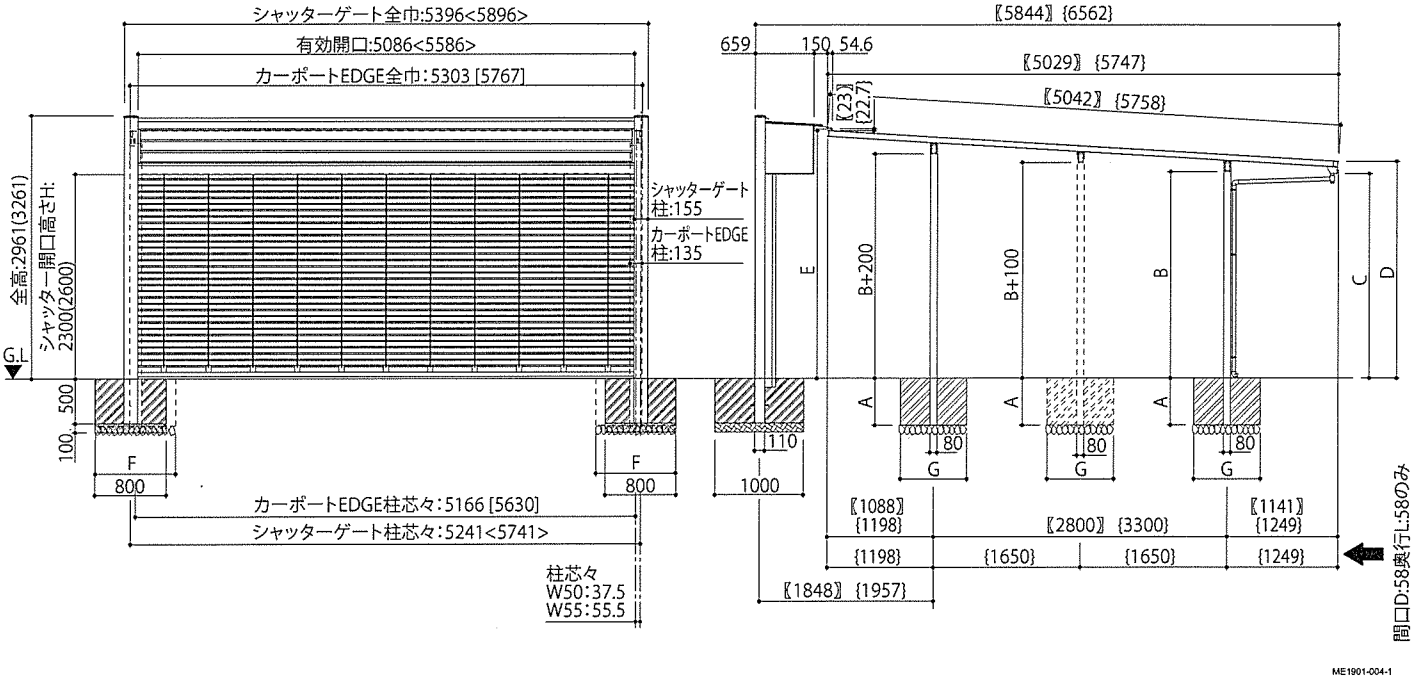
## 2台用

※本図は、シャッターゲートD型、間口W:50・高さH:23ステンレスグリルを示しています。
※本図は、シャッターゲートひさし、間口W:50を示しています。
※本図は、カーポート「EDGE」、長柱タイプ、間口D:54を示しています。
※ < > 内寸法は、シャッターゲート間口W:55の場合を示しています。
※ ( ) 内寸法は、シャッターゲート高さH:26の場合を示しています。
※《 》内寸法は、シャッターゲートひさし間口W:55の場合を示しています。
※ [ ] 内寸法は、カーポート間口D:58の場合を示しています。
※〖 〗内寸法は、カーポート奥行L:51の場合を示しています。
※ { } 内寸法は、カーポート奥行L:58の場合を示しています。
※『 』内寸法は、アルミスラットの場合を示しています。
※アルミスラットの場合は、製作限界範囲にご注意ください。




●カーポート柱 基礎寸法表 (mm)

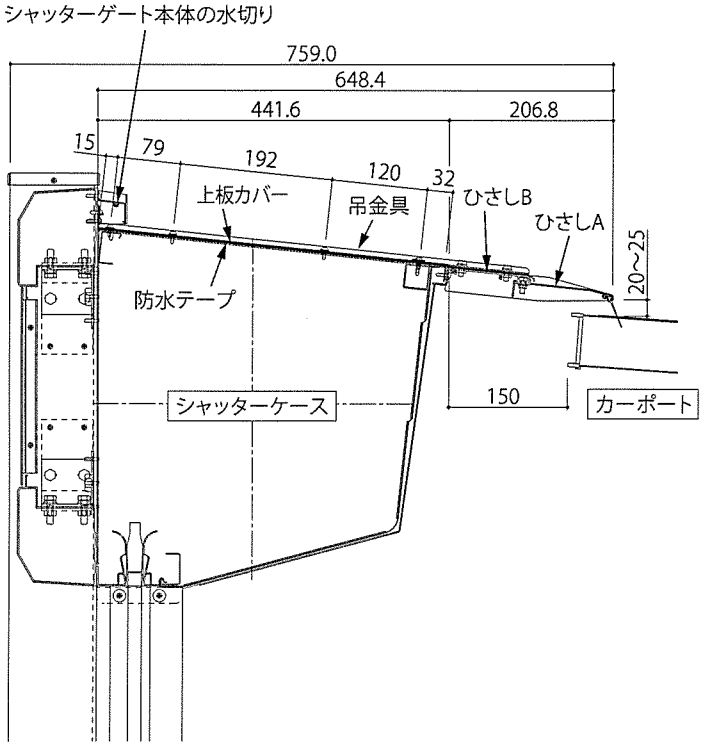
| サイズ | F寸法 | G寸法 |
|---|---|---|
| 間口D:54・奥行L:51 | 900 | 750 |
| 間口D:58・奥行L:58 | 900 | 750 |
| 間口D:58・奥行L:51 | 1000 | 800 |
| 間口D:54・奥行L:58 | 1000 | 800 |

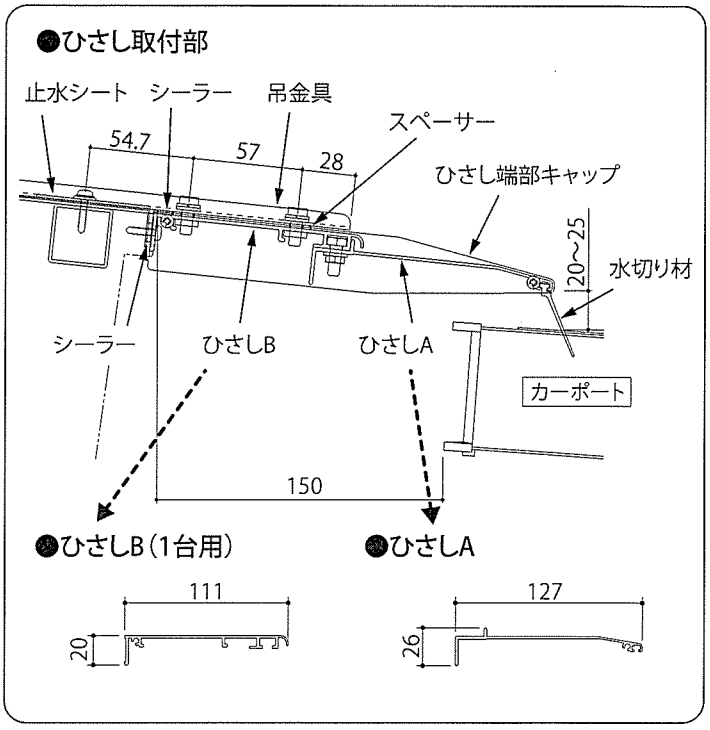



●カーポート柱寸法表 (mm)

| サイズ | 柱種類 | A寸法 | B寸法 | C寸法 | D寸法 | E寸法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 高さH:23・奥行L:51 | 長柱 | 530 | 2320 | 2291 | 2430 | 2789 |
| 高さH:26・奥行L:51 | 長々柱 | 580 | 2620 | 2591 | 2730 | 3089 |
| シャッター開口高さHに対する公式 | | | H＋20 | H－9 | H＋130 | H＋489 |
| 高さH:23・奥行L:58 | 長柱 | 525 | 2325 | 2302 | 2440 | 2789 |
| 高さH:26・奥行L:58 | 長々柱 | 575 | 2625 | 2602 | 2740 | 3089 |
| シャッター開口高さHに対する公式 | | | H＋25 | H＋2 | H＋140 | H＋489 |

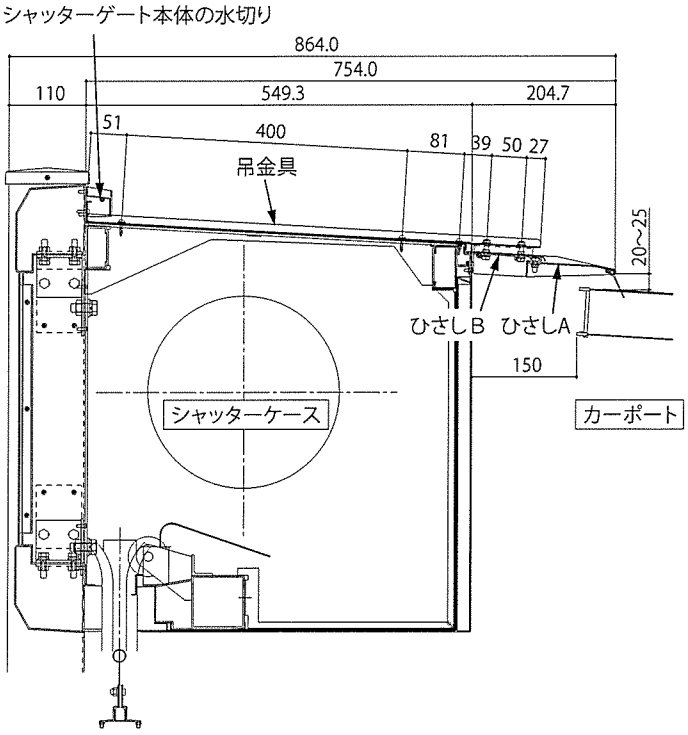
## 断面詳細図（1台用）

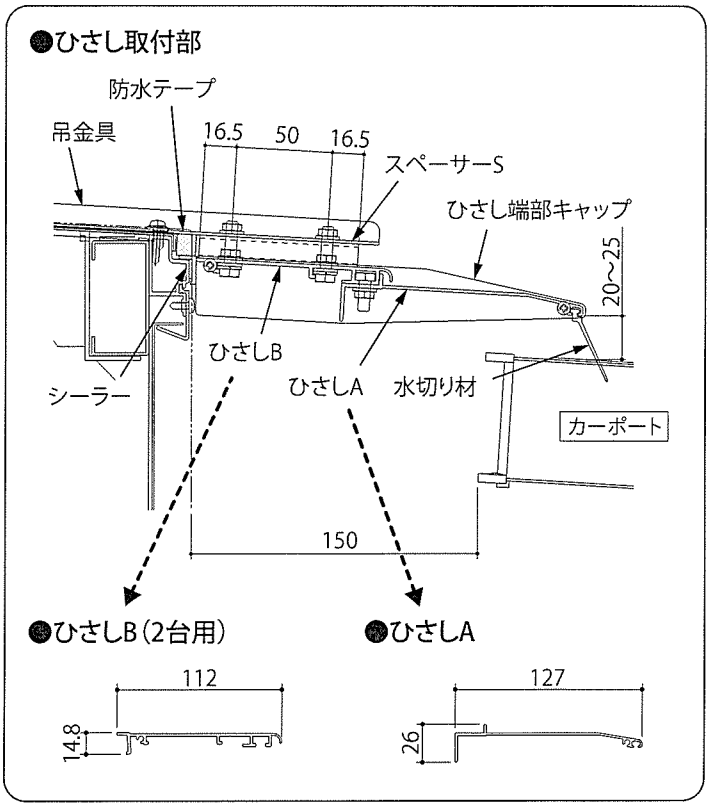



ME1901-013

## 断面詳細図（2台用）




ME1901-012-2

# A シャッターゲート本体へ取付ける前の手順

●ひさしをシャッターゲート本体へ取付ける前に行う作業を説明しています。（※下で行う作業）

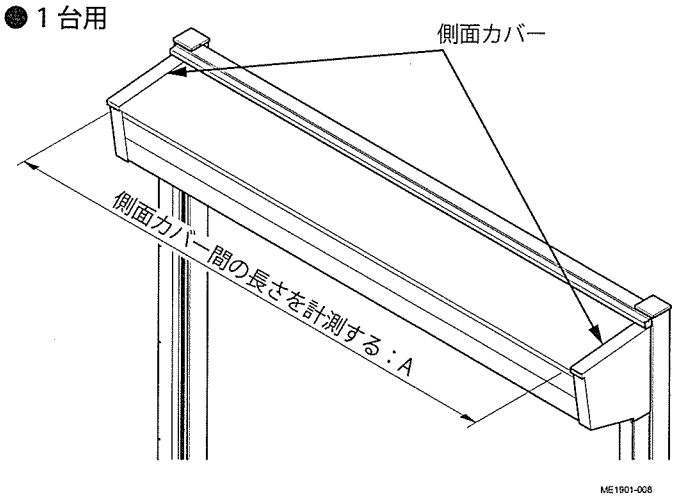
## 1 部材の切断・孔加工

### 1－1 部材の切断

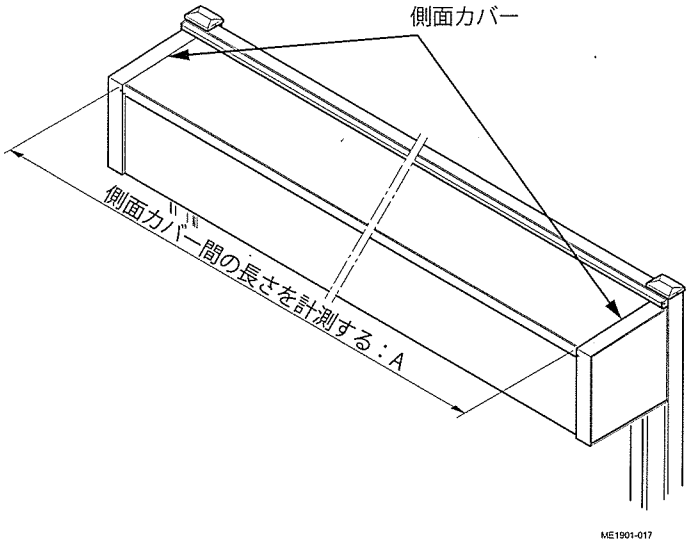
施工前に、シャッターゲートの施工が完了していることを確認してください。

①既設のシャッターゲートの、側面カバー間の長さを計測してください。

●1台用




●2台用

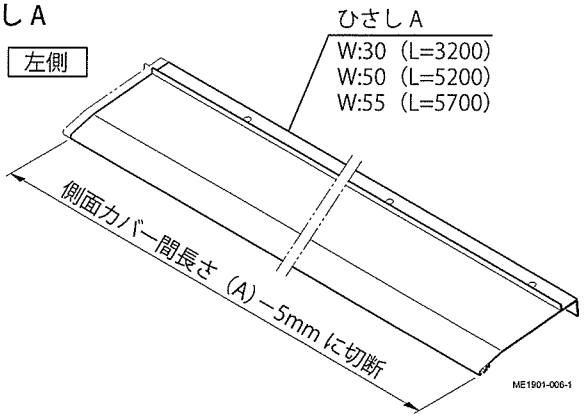



②ひさしA・ひさしB、および水切り材を必要な長さに切断してください。

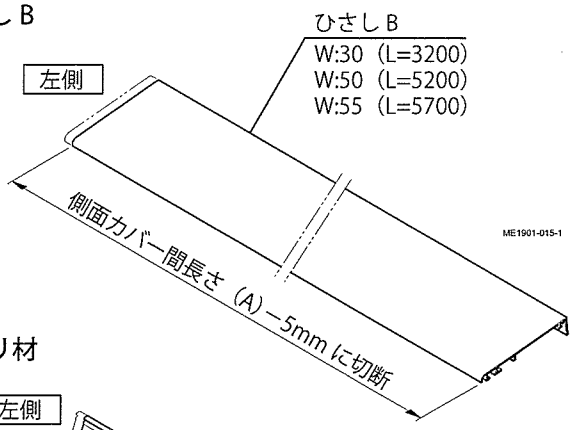
●切断公式
「側面カバー間の長さ（A）」－5mm

部材は内観（下図の向き）左側から切断してください。
※ひさしAの場合は、左側から切詰めることで、出荷時に加工済みの長孔の位置と左右対象になります。

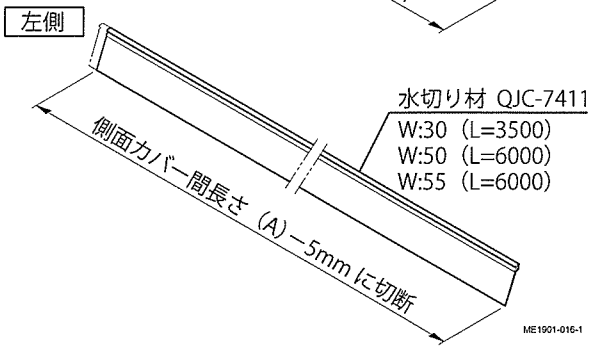
●ひさしA




●ひさしB




●水切り材



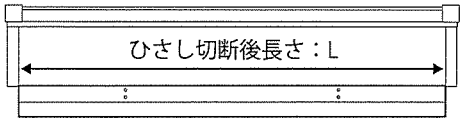
## 1－2 部材の孔加工

①図を参照して、ひさし A、ひさし B に孔加工を行ってください。

●１台用のみ、ひさし A に孔加工を行ってください。
●ひさし A には、部材の切断側に孔加工を行ってください。

ひさし B は、L 寸法から計算して孔加工位置を決めてください。

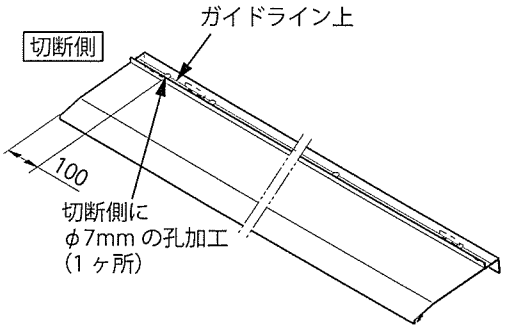
●L 寸法



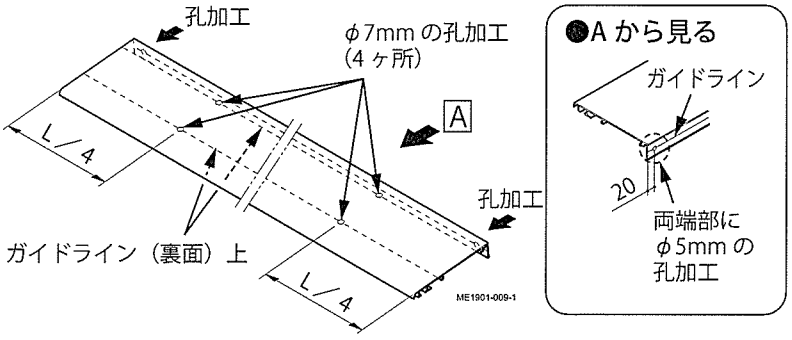
２台用：ひさし B は、ステンレスグリルとアルミスラットで孔加工の位置が異なります。

**1台用**

●ひさし A

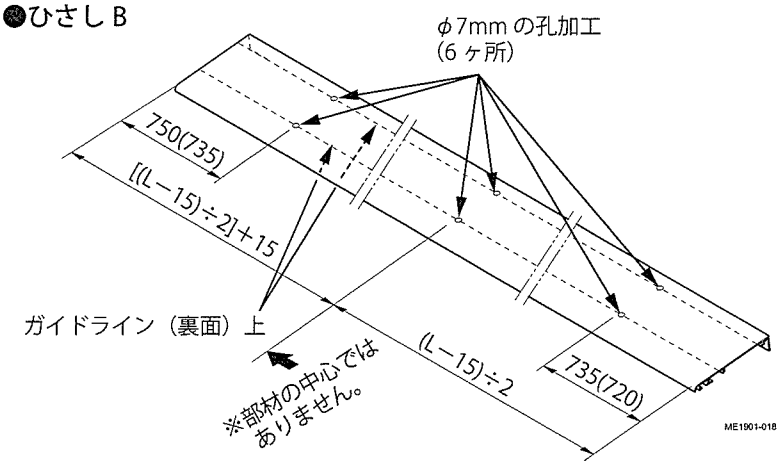



●ひさし B




**2台用**

●ひさし B

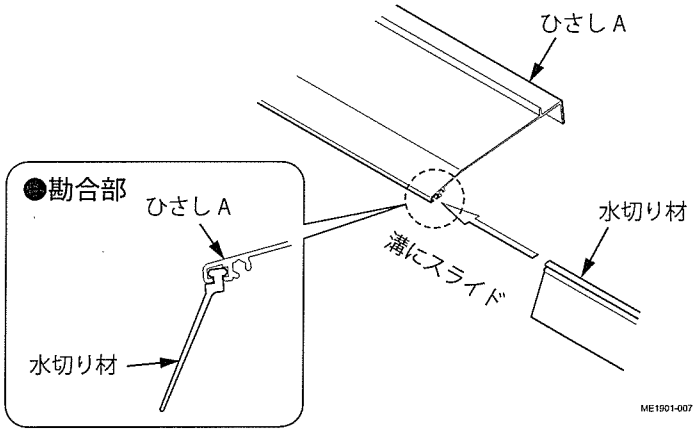



※本図はステンレスグリルの場合を示しています。
※（　）内はアルミスラットの場合を示しています。

## 1－3 水切り材のはめ込み

①ひさし A に水切り材をはめ込んでください。

ひさし A の溝に水切り材の凸部をスライドさせてください。



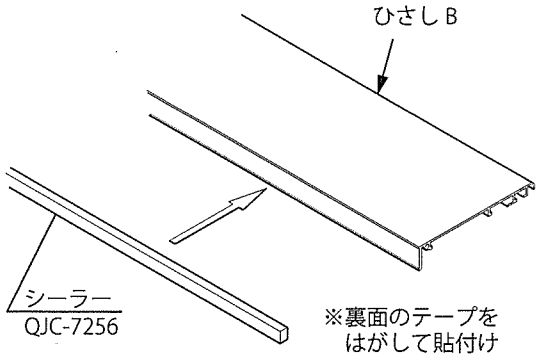
# 2 シーラーの貼付け

●ここでは、1台用と2台用で共通の手順については、1台用のイラストで示しています。

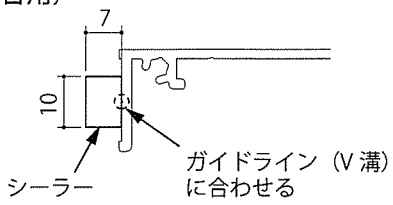
①シーラー接着面のテープをはがし、シーラーをひさしBに貼付けてください。

シーラーの貼付け前に、ひさしBの取付面のほこり等をきれいに拭き取ってください。

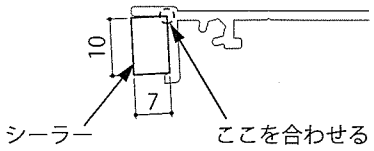
1台用の場合、後工程で残りのシーラーを使用します。




●ひさしB（1台用）

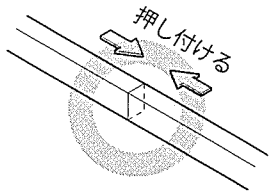



●ひさしB（2台用）

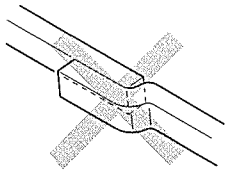


シーラーの連結部は、隙間の無いように貼付けてください。
※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

●シーラーの連結部




シーラーを両側より押し付けて
隙間の無いように貼付ける



重ねない

ME1901-205

# 3 ひさしBと吊金具の組立て

## 3－1 1台用の場合

ボルト・ナットの締付けには、インパクトドライバーを使用しないでください。
※インパクトドライバーを使用すると、ボルト・ナットが破損する原因になります。
※ハンドドライバーまたは電動ドライバーを使用してください。

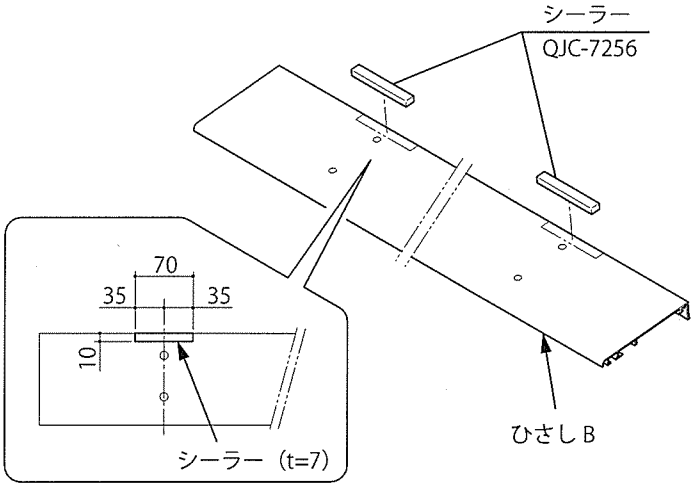
●ひさしBと吊金具の取付位置

ME1901-332

①「1-2」であけた孔の位置にあわせて、ひさしBにシーラーを貼付けてください。

「2. シーラーの貼付け」で余ったシーラーを使用してください。
※ 70mm の長さに切断してください。

※「2. シーラーの貼付け」の余りを使用する
※70mm に切断して貼付ける

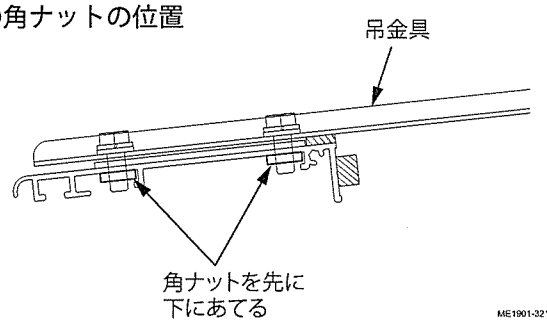



ME1901-309

②ひさしBの下側に角ナットをあててください。

角ナットを先に下にあててください。
※上側のボルトの差し込み後は、角ナットを取付けられなくなります。

●角ナットの位置

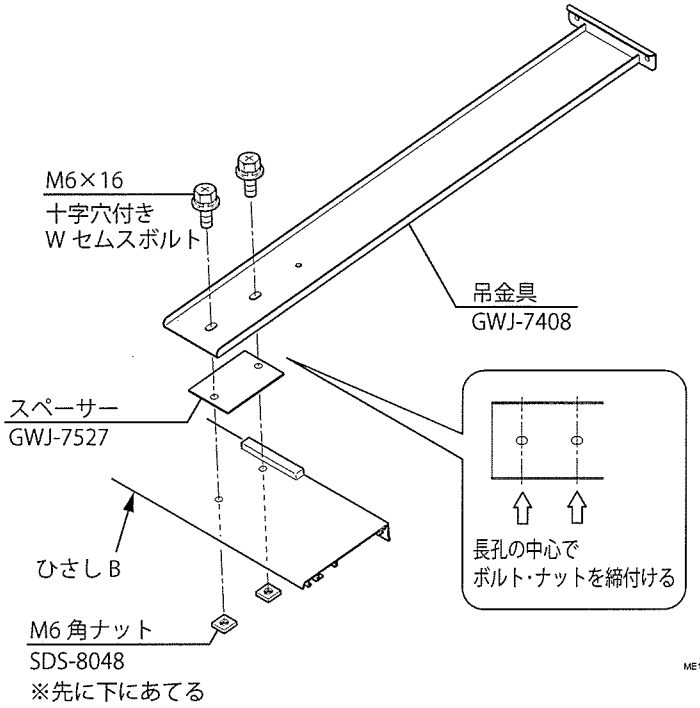



ME1901-321-2

③スペーサーをはさんで、吊金具を上側においてください。

④吊金具の上側よりボルトを差し込み、角ナットを締付けて固定してください。

吊金具の長孔の中央で、角ナットをいったん締付けてください。
※後で、「6. 吊金具の取付け」のときに、調整のために取外す場合があります。

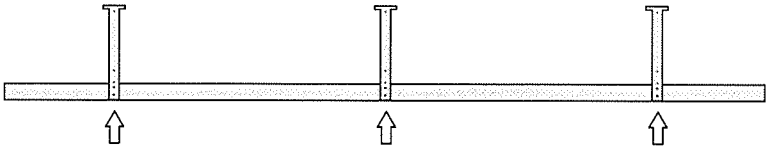



ME1901-310

## 3－2　2 台用の場合

ボルト・ナットの締付けには、インパクトドライバーを使用しないでください。
※インパクトドライバーを使用すると、ボルト・ナットが破損する原因になります。
※ハンドドライバーまたは電動ドライバーを使用してください。

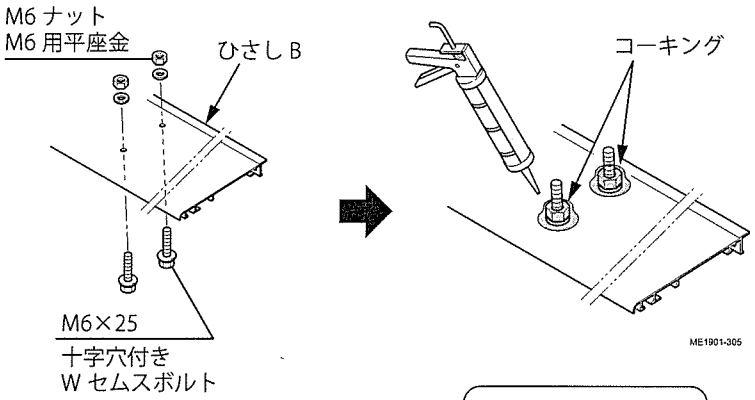
●ひさし B と吊金具の取付位置




①「1-2」であけた孔の位置にあわせて、ひさし B の上下から、ボルト・ナットを取付けてください。

②取付部にコーキング処理を行ってください。

コーキング処理を確実に行ってください。
※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

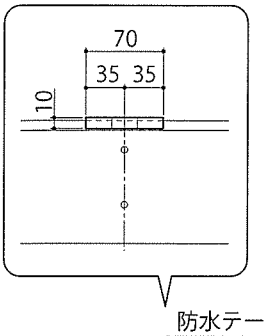



③ボルトのネジ部にスペーサー S を差込んでください。

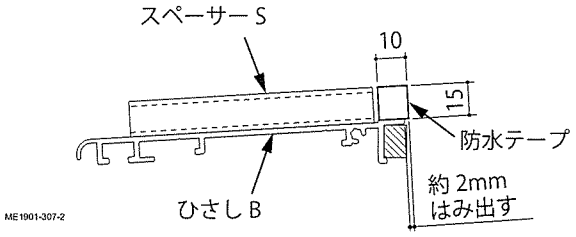
④ひさし B に防水テープを貼付けてください。

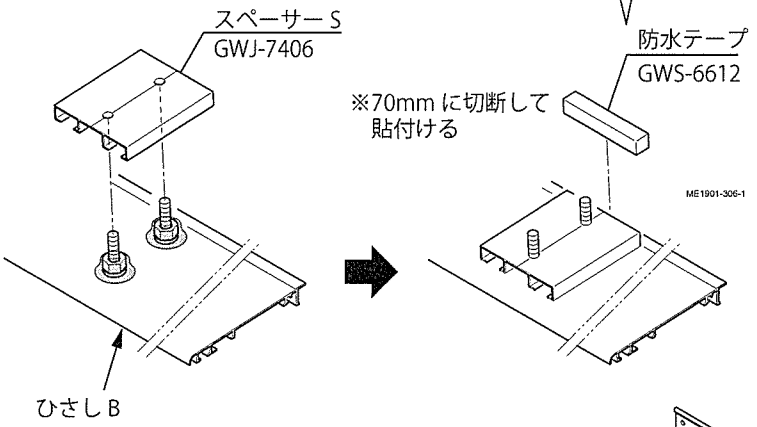
長さ 250mm の防水テープを、70mm に切断して貼付けてください。

防水テープを約 2mm はみ出して貼付けてください。




●防水テープの貼付け

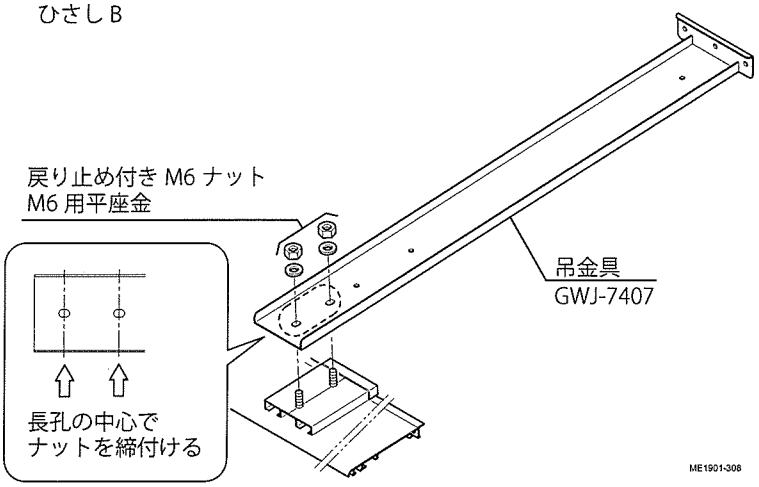



⑤ボルトのネジ部に吊金具を差込んでください。

⑥吊金具をナットで締付けて固定してください。

吊金具の長孔の中央で、角ナットをいったん締付けてください。
※後で、「6. 吊金具の取付け」のときに、調整のために取外す場合があります。



## 4 ひさし端部キャップの取付け（※シャッターゲートＳ型・Ｒ型の場合）

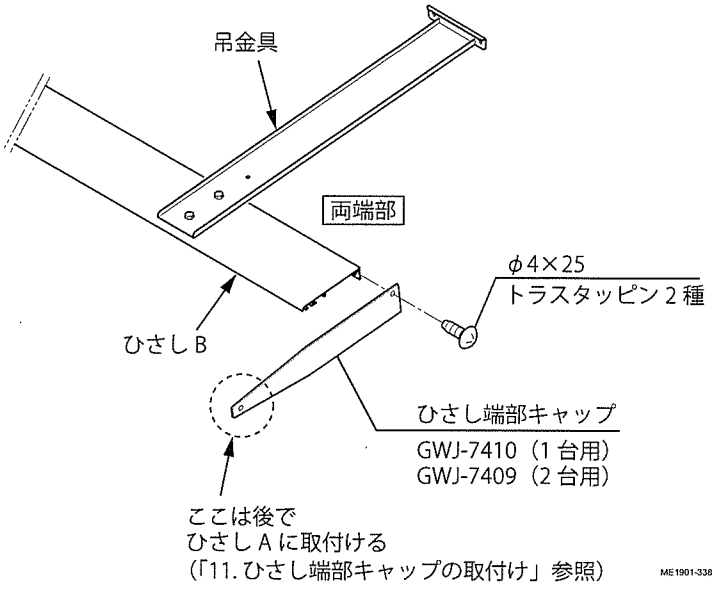
●シャッターゲートＳ型・Ｒ型の場合に行ってください。
●ここでは、１台用のイラストで示しています。

**シャッターゲートＳ型・Ｒ型の場合は、必ず、ここでひさしＢに端部キャップを取付けてください。**
※Ｓ型・Ｒ型の場合は、この後吊金具をシャッターケースに取付ると、ひさしＢの取付孔が隠れるため、後から取付られません。
※Ｓ型・Ｒ型以外の場合は、後で取付けることができます。（「11. ひさし端部キャップの取付け」参照）

①図を参照して、ひさしＢの両端部にひさし端部キャップを取付けてください。

**シャッターゲートＳ型・Ｒ型の場合は、ビスを本締めしてください。**
※この後、吊金具をシャッターケースに取付ると、ビス頭が隠れるため増し締めできません。

**残りのビスは後で使用しますので、無くさないようにしてください。**




## B シャッターゲートへのひさしの取付け

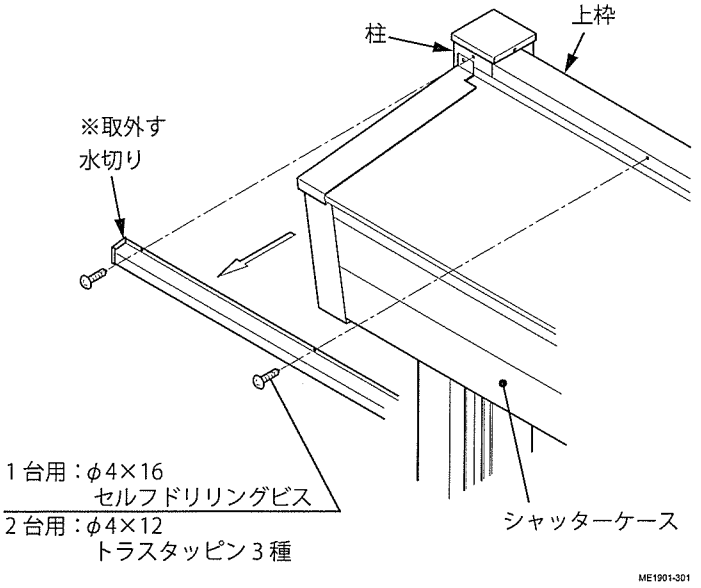
●シャッターゲート本体へひさしを取付ける作業を説明しています。（※シャッターゲートの上で行う作業）

## 5 水切りの取外し

●ここでは、１台用と２台用で共通の手順については、１台用のイラストで示しています。

①シャッターゲート本体の水切りを取外してください。

**取外した水切りとビスは後で取付けますので、無くさないようにしてください。**



# 6 吊金具の取付け

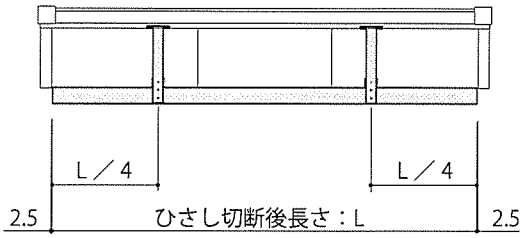
## 6－1 1台用の場合

### 6-1-1 吊金具の取付け

①右図を参照し、吊金具の取付位置を確認してください。

> シャッターゲート本体の側面カバーから2.5mmの隙間をあけてください。

●吊金具の取付位置

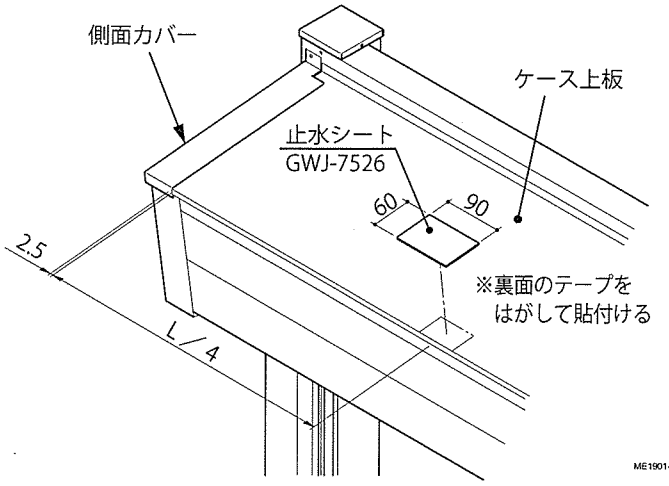



ME1901-312

②ケース上板に、止水シートを貼付けてください。

> 止水シートの貼付け前に、ケース上板の取付面のほこり等をきれいに拭き取ってください。

> ●ケース上板のビスが施工時に干渉する場合は、ビスを取外し、ビス孔をコーキングしてください。
> ●取外したビスは、左右にずらして再度取付けてください。




ME1901-311

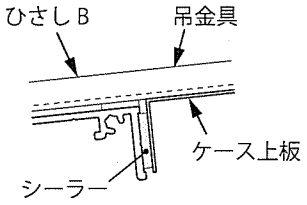
③「3-1」で組立てた吊金具をケース上板に載せてください。

④ひさしBとケース上板の位置を下記の断面図の通りに合わせて、吊金具をケース上板にビス止めしてください。

> 道路側のφ4×16セルフドリリングビスを、先にビス止めしてください。

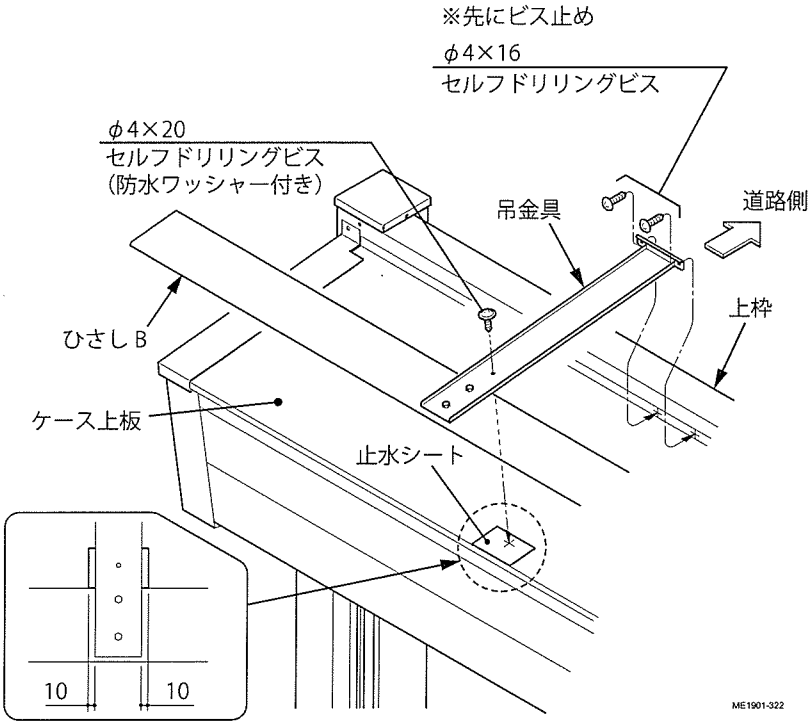
> 止水シートを確実に圧縮してください。
> ※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

●断面図




ME1901-336

> ●ケース上板のビスが施工時に干渉する場合は、ビスを取外し、ビス孔をコーキングしてください。
> ●取外したビスは、左右にずらして再度取付けてください。




ME1901-322

ひさし B とケース上板の間隔が 5mm 以上ある場合は調整が必要です。
「手順⑤・⑥」を行ってください。

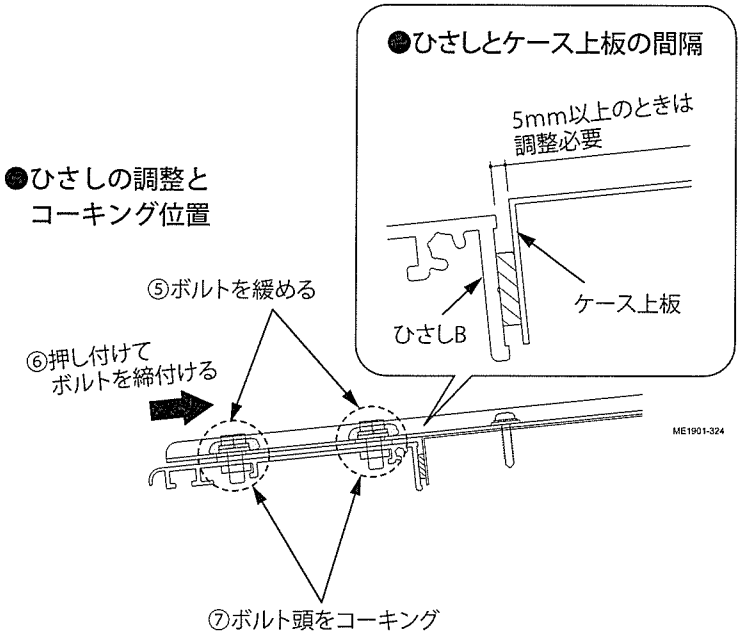
**間隔が 5mm 以上ある場合のみ**

⑤吊金具のボルトをいったん緩めてください。

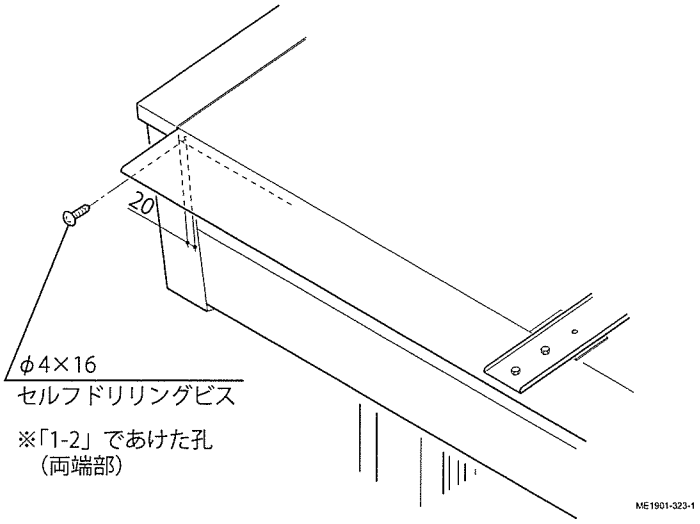
⑥ひさし B をケース上板に押し付けて、再びボルトを締付けてください。

**共通の手順**

⑦ボルト頭にコーキング処理を行ってください。




⑧「1-2」であけた孔位置に、セルフドリリングビスでケース上板に固定してください。



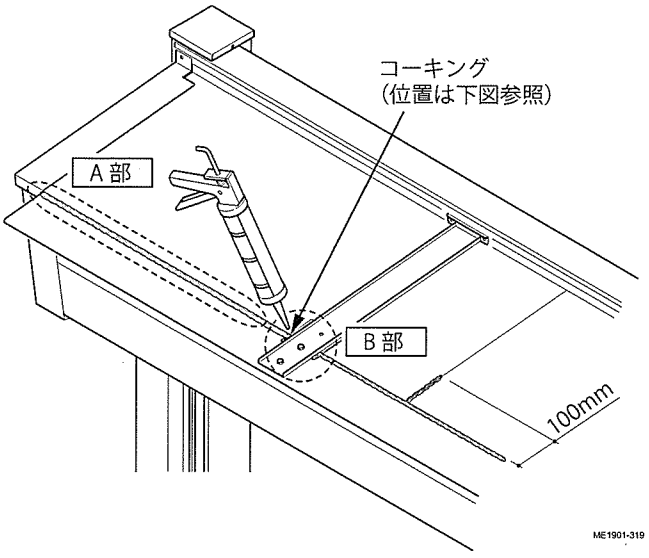
## 6-1-2 防水処理（コーキング）

①下図を参照し、防水処理（コーキング）位置を確認してください。

ケース上板の継ぎ目は２ヶ所ありますが、位置は現場ごとに異なります。

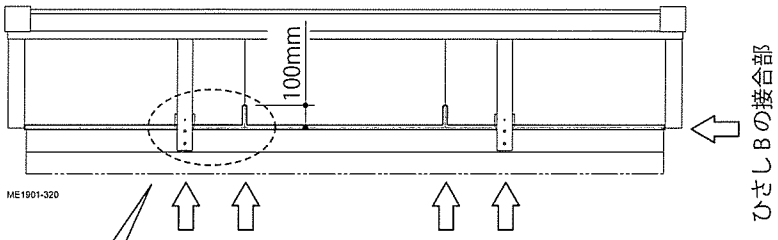
②コーキング処理を行ってください。

コーキング処理を確実に行ってください。
※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

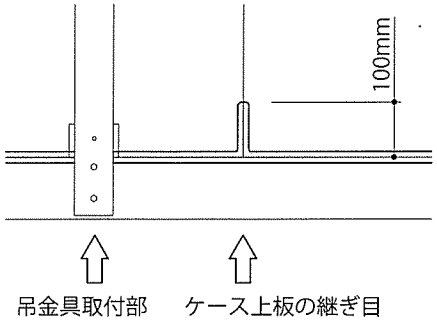



●コーキング位置

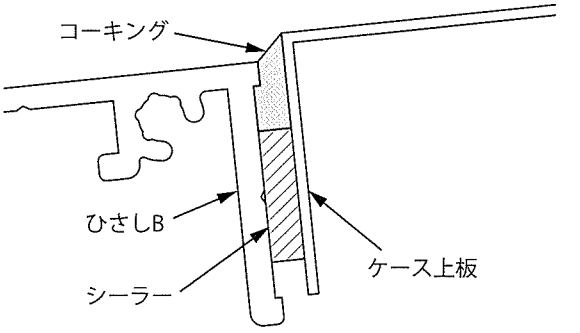
※本図は一例です。
ケース上板の継ぎ目は２ヶ所ありますが、
位置は現場ごとに異なります。



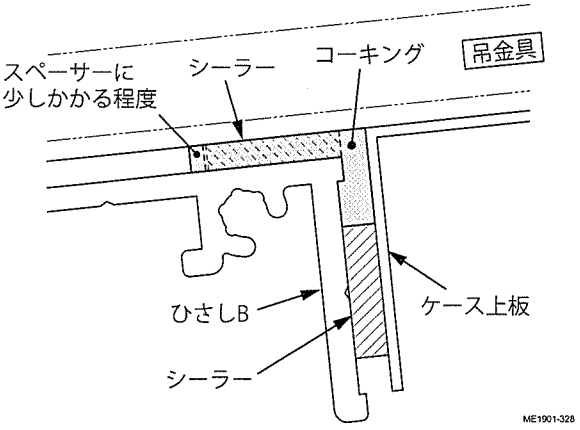

●拡大図



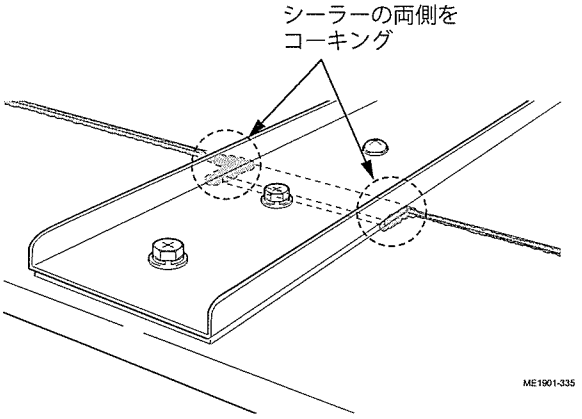

●ひさしとの接合部 断面図（A部）




●吊金具取付部 断面図（B部）




●吊金具取付部 拡大図（B部）



## 6-1-3 上板カバーの取付け

①右図を参照して、上板カバーの取付位置を確認してください。

ケース上板の継ぎ目は２ヶ所ありますが、位置は現場ごとに異なります。

②上板カバーにシーラーを貼付けてください。

シーラーの貼付け前に、上板カバーの取付面のほこり等をきれいに拭き取ってください。

「2. シーラーの貼付け」で余ったシーラーを使用してください。

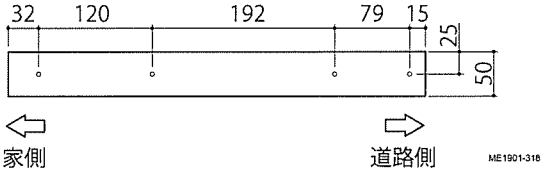
③右図を参照して、ケース上板の継ぎ目に、上板カバーを取付けてください。

道路側の端部をシャッターゲート本体に合わせてください。

道路側よりビス止めしてください。

上板カバーには向きがあります。
※下図を参照し、向きを確認してください。

●上板カバーの向き



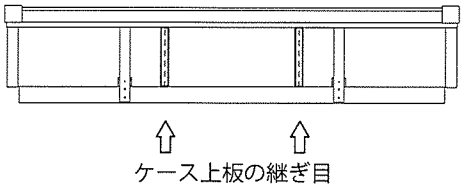

ケース上板の継ぎ目には段差があります。上板カバーを押し付けてビス止めしてください。

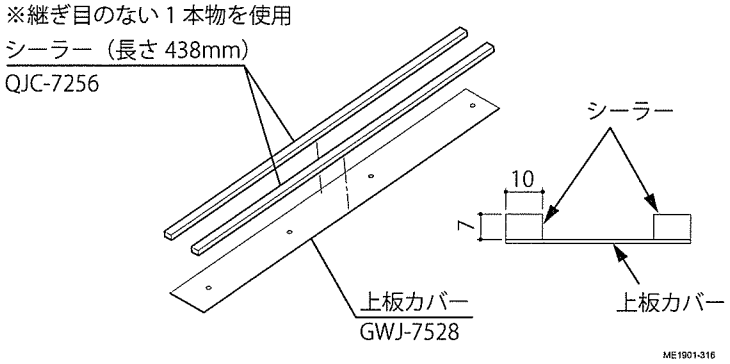
上板カバーを、右図の位置に確実に固定してください。
※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

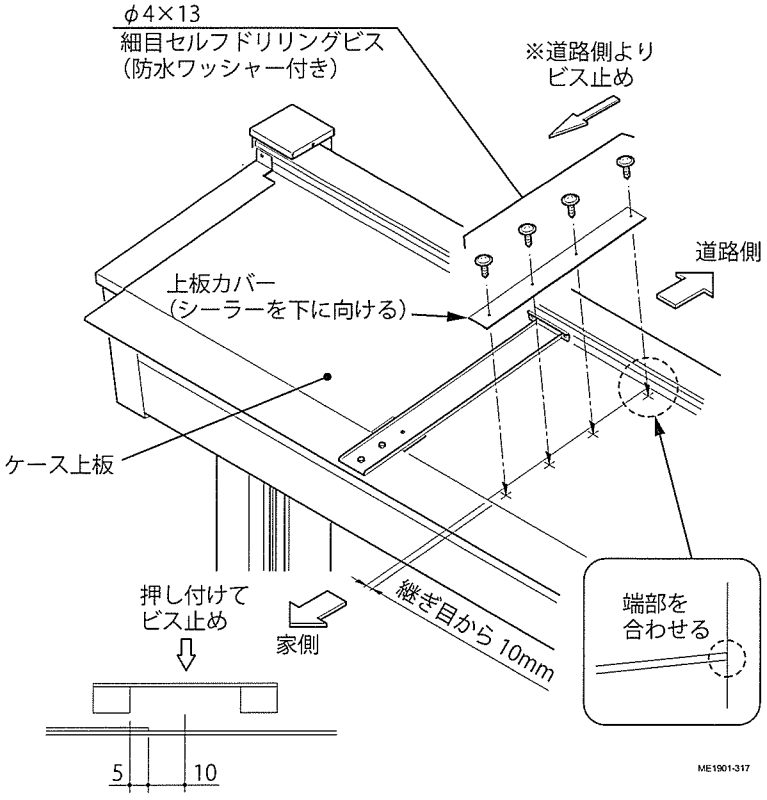
●ケース上板のビスが施工時に干渉する場合は、ビスを取外し、ビス孔をコーキングしてください。
●取外したビスは、左右にずらして再度取付けてください。

●上板カバーの取付位置（例）

※本図は一例です。
ケース上板の継ぎ目は２ヶ所ありますが、位置は現場ごとに異なります。



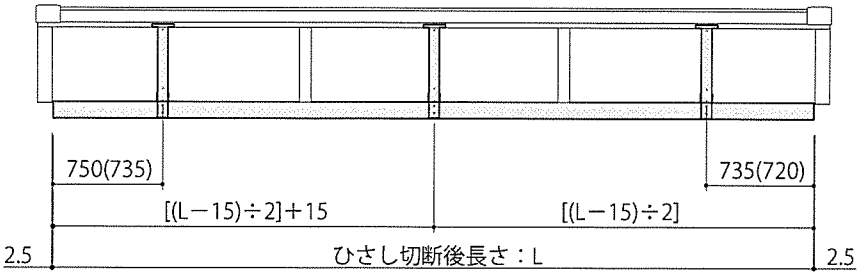
## 6－2　2台用の場合

### 6-2-1　吊金具の取付け

①右図を参照し、吊金具の取付位置を確認してください。

> シャッターゲート本体の側面カバーから 2.5mm の隙間をあけてください。

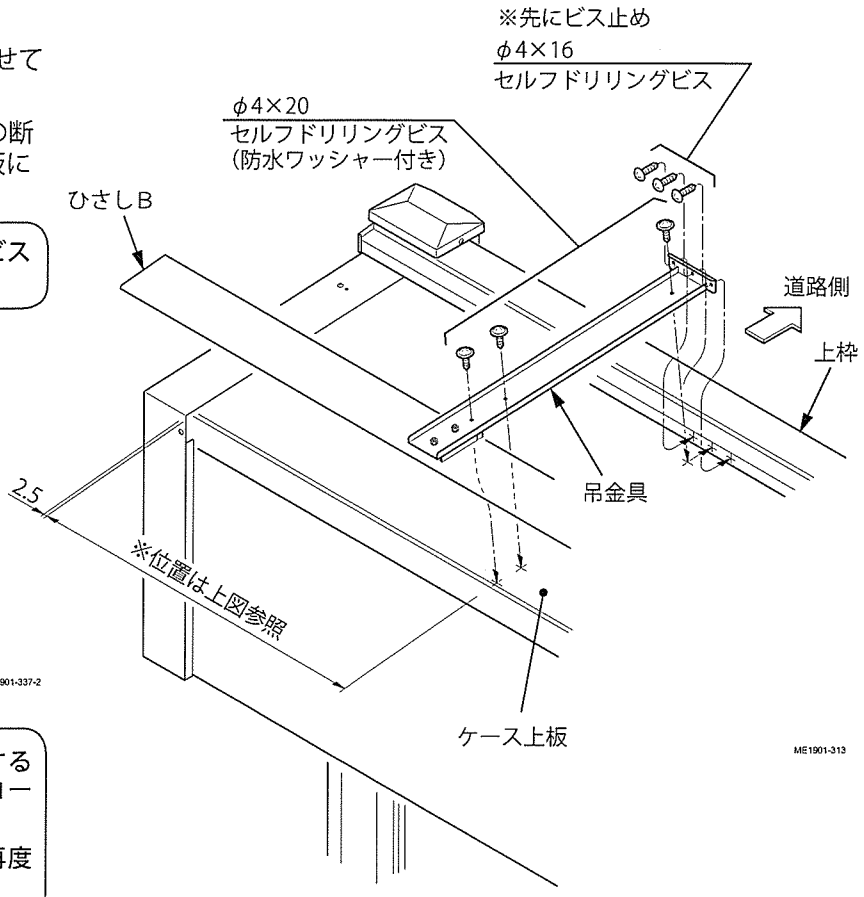
●吊金具の取付位置



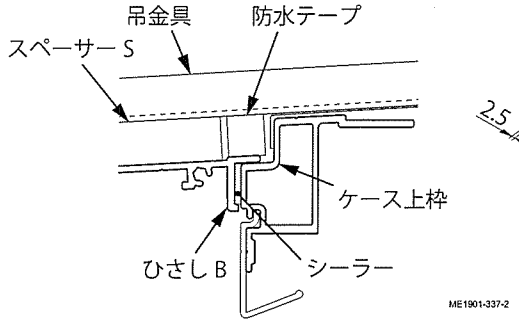

②「3-2」で組立てた吊金具をケース上板に載せてください。

③ひさし B のとケース上枠の位置関係を下記の断面図の通りに合わせて、吊金具をケース上板にビス止めしてください。

> 道路側のφ 4 × 16 セルフドリリングビスを、先にビス止めしてください。

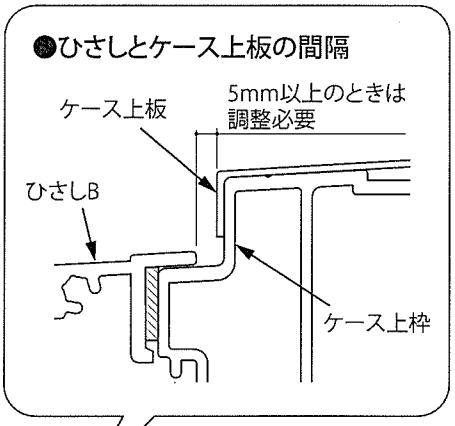



●断面図




> ●ケース上板のビスが施工時に干渉する場合は、ビスを取外し、ビス孔をコーキングしてください。
> ●取外したビスは、左右にずらして再度取付けてください。

●ひさしとケース上板の間隔



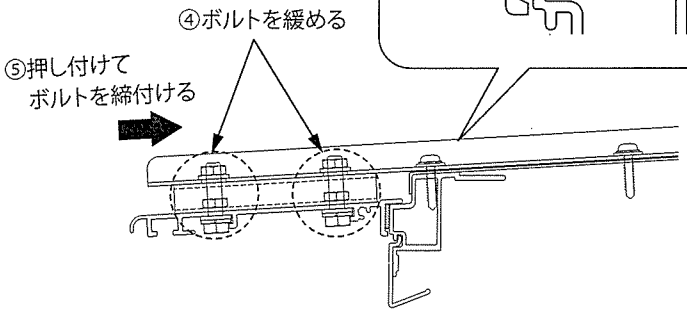

> ひさし B とケース上板の間隔が 5mm 以上ある場合は調整が必要です。
> 「手順④・⑤」を行ってください。

●ひさしの調整

**間隔が 5mm 以上ある場合のみ**

④吊金具のボルトをいったん緩めてください。

⑤ひさし B をケース上枠に押し付けて、再びボルトを締付けてください。

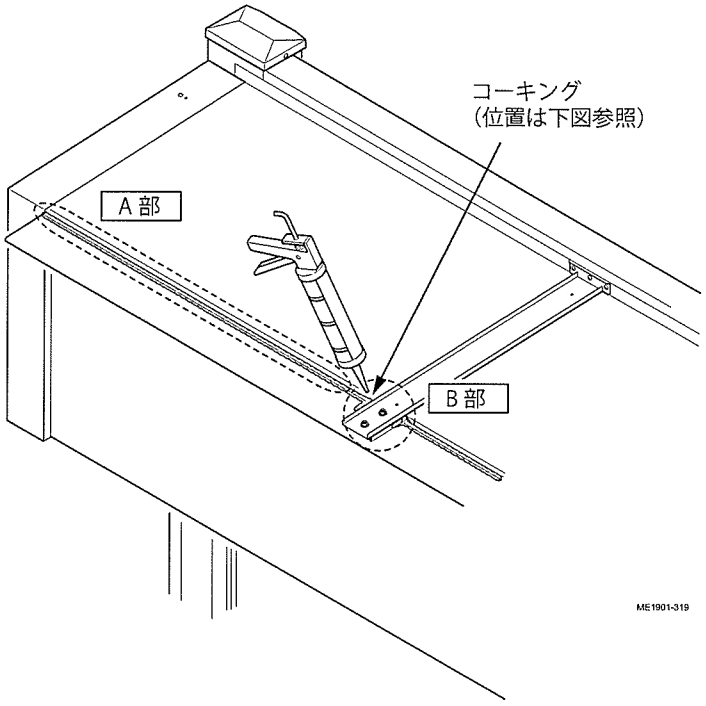


## 6-2-2 防水処理（コーキング）

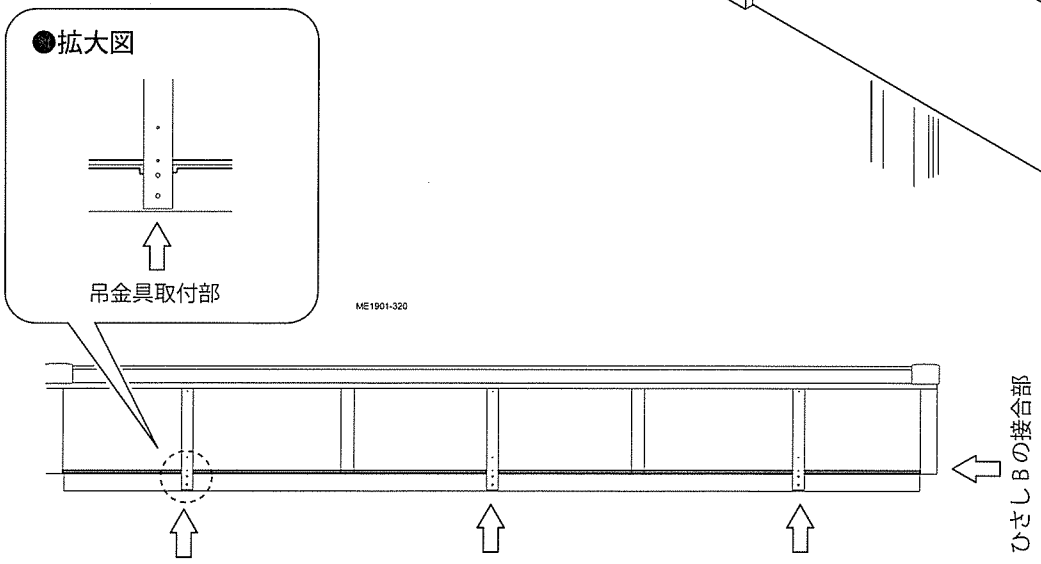
①下図を参照し、防水処理（コーキング）位置を確認してください。

②コーキング処理を行ってください。

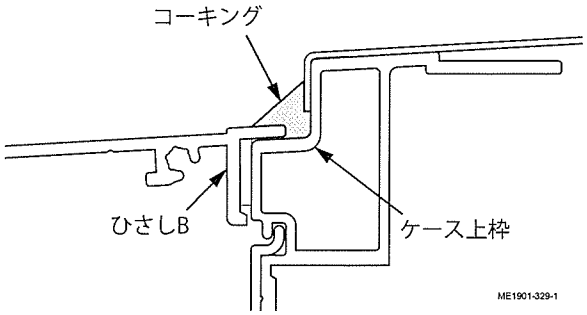
**コーキング処理を確実に行ってください。**
※不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



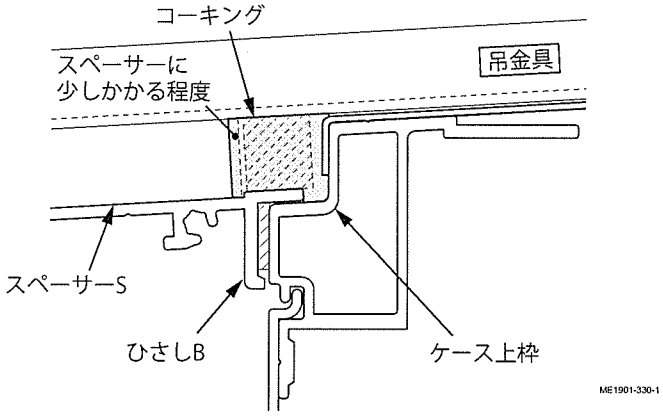

●コーキング位置



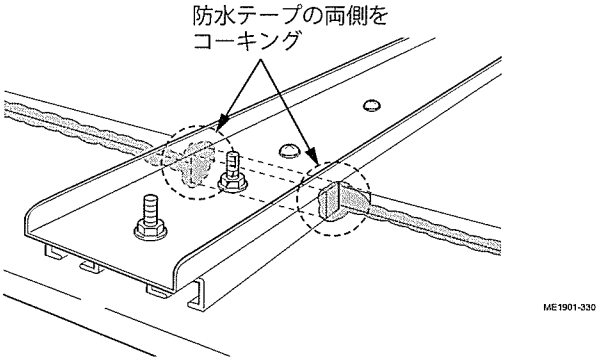

●ひさしとの接合部 断面図（A部）




●吊金具取付部 断面図（B部）



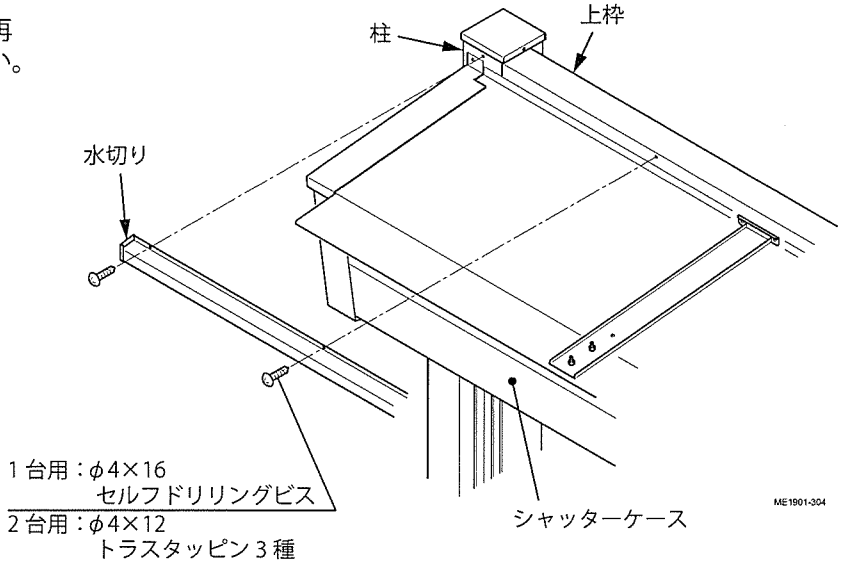

●吊金具取付部 拡大図（B部）



# 7 水切りの取付け

●ここでは、1台用と2台用で共通の手順については、1台用のイラストで示しています。

①「5. 水切りの取外し」で取外した水切りを、再度シャッターゲートの上枠に取付けてください。

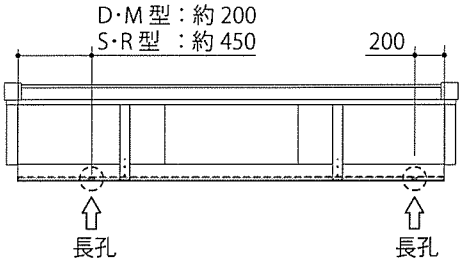



# 8 ひさしAの仮固定

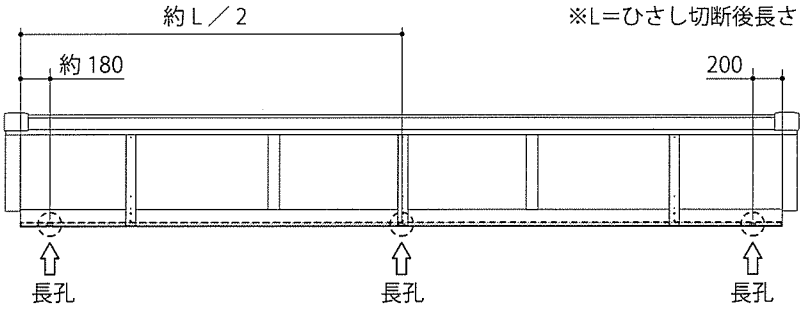
●現場の状況に応じて行ってください。
●ここでは、1台用と2台用で共通の手順については、1台用のイラストで示しています。

●現場の状況に応じて、ひさしAを仮固定しておきたい場合に行ってください。（カーポート施工中にひさしAの保管場所が無い場合など）
●ここでは、ひさしAの向きを下向きにして取付ておくことができます。
●このあと、「カーポートEDGE」を施工します。カーポートの施工後に、ひさしAを本施工します。（「10. ひさしAの本施工」参照）
※ひさし端部キャップは、ここでは仮固定せずに、本施工まで保管しておいてください。

●1台用の長孔位置（2ヶ所）




●2台用の長孔位置（3ヶ所）

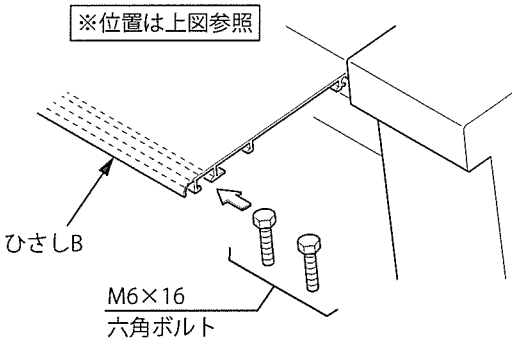



ME1901-407

①下表で必要なボルトの本数を確認し、ひさしBの溝にボルト頭を挿入してください。

●ボルトの本数（長孔1ヶ所につき2本）

| 納まり | シャッターゲートサイズ | ひさしAの長さ | ボルトの本数 |
|---|---|---|---|
| 1台用 | W:30 | L=3200 | 4本 |
| 2台用 | W:50 | L=5200 | 6本 |
| | W:55 | L=5700 | 6本 |

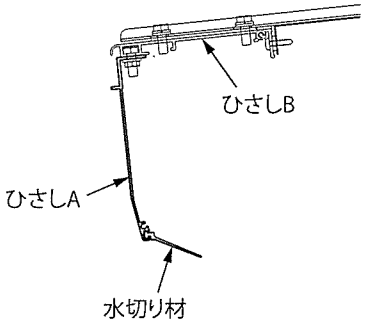



ME1901-403

②「手順①」で挿入したボルトを２本使用して、
ひさし A を固定してください。

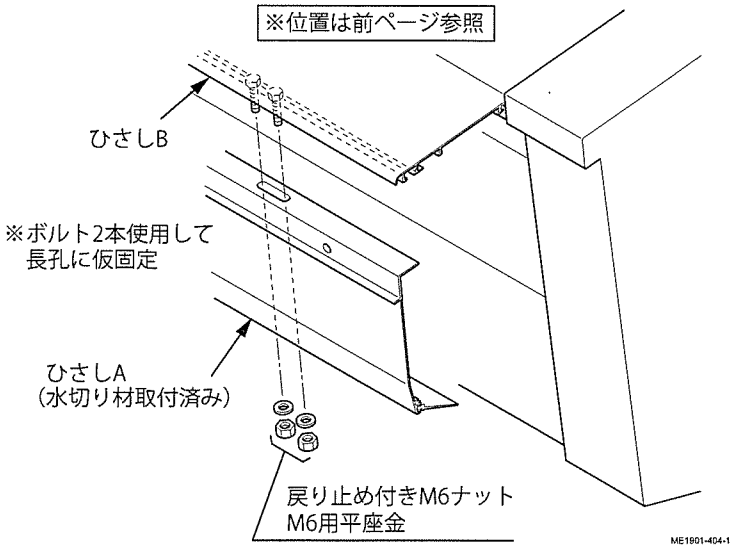
> **ここでは、ひさし A の取付ナットをいったん本締めしてください。また、必ず図の向きでひさし A を固定してください。**
> ※向きを守らないと、カーポートの施工時に屋根材を取付けるビスが打てなくなります。

●ひさし A の向き：断面図




※本図は、１台用の場合を示しています。
※２台用の場合も同じ向きになります。

ME1901-404




# 9 カーポートの施工

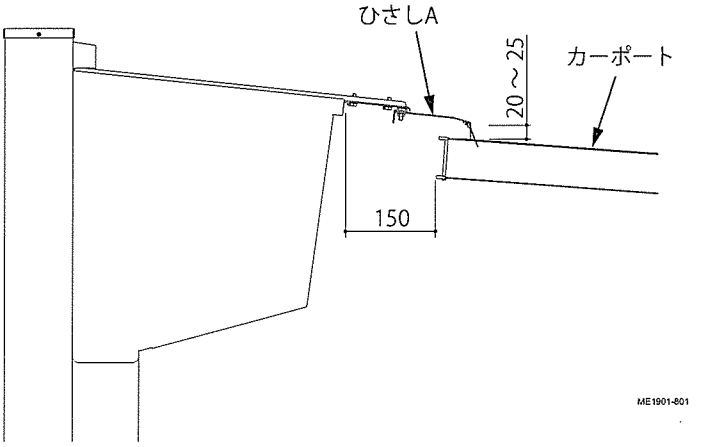
●「カーポート EDGE」の施工説明書 [ME-1820] を参照して行ってください。

①「カーポート EDGE」の施工説明書 [ME-1820]
を参照して、カーポートを施工してください。

> **必ず、シャッターゲートとカーポートの間隔を 150mm にあわせてください。**
> ※ 150mm 未満であると、シャッターゲートのメンテナンスができなくなります。

> **●カーポート柱の埋め込み寸法は、必ず 3 ～ 4 ページの「納まり図」の寸法通りに行ってください。**
> **●柱移動する場合は、右図の寸法が 20 ～ 25mm の範囲に納まるように柱の埋め込み寸法を調整してください。**

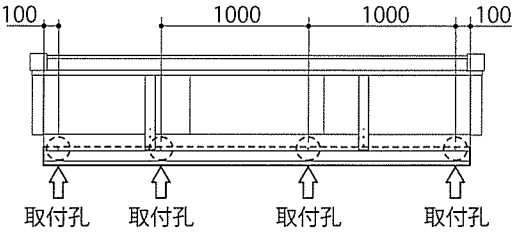
●柱移動する場合のひさしとカーポートの寸法



# 10 ひさしAの本施工

●「8.ひさしAの仮固定」でひさしAを一時的にひさしに取付けている場合は、施工前にひさしAを取外してください。

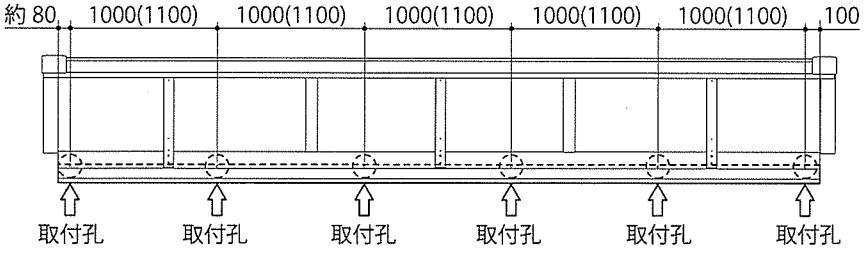
●1台用の取付位置（4ヶ所）




●2台用の取付位置（6ヶ所）

※本図は、シャッターゲートW：50の場合を示しています。
（　）内寸法は、シャッターゲートW：55の場合を示しています。

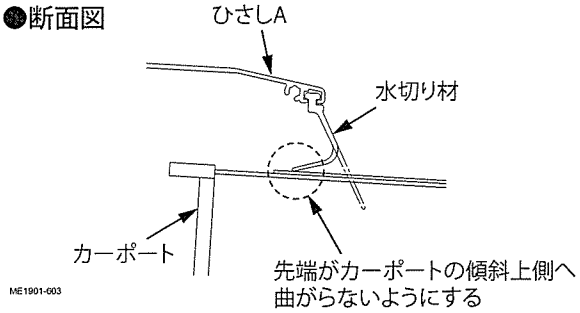
ME1901-604-1

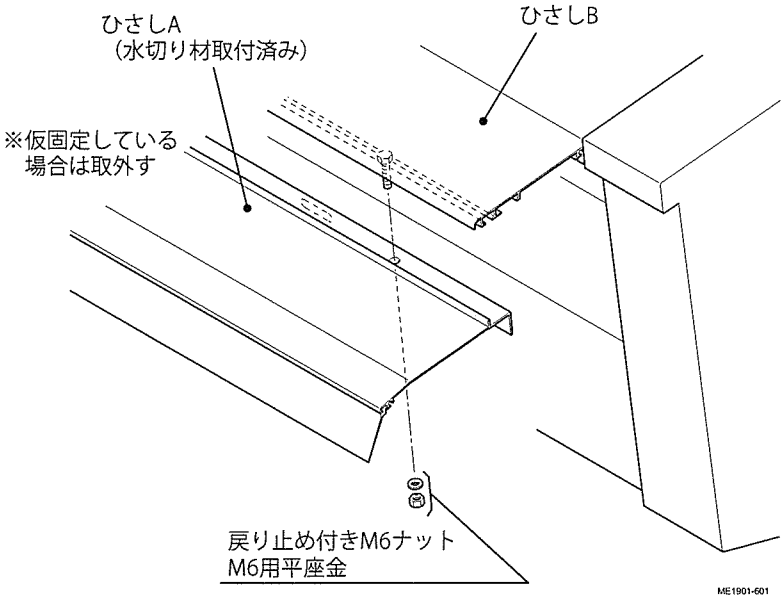



①（ひさしAを仮止めしている場合は取外し、）ひさしAを右図の向きでひさしBに取付けてください。

> **ボルト・ナットの締付けには、インパクトドライバーを使用しないでください。**
> ※インパクトドライバーを使用すると、ボルト・ナットが破損する原因になります。
> ※ハンドドライバーまたは電動ドライバーを使用してください。

●断面図



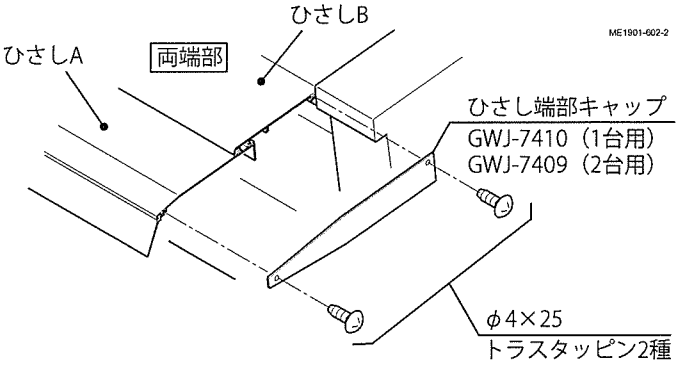




# 11 ひさし端部キャップの取付け

●「3-3」でひさしBに取付けている場合は、ここでひさしA側をビス止めしてください。

①ひさしの両端部に、ひさし端部キャップを取付けてください。

> シャッターゲートS型・R型の場合は、ここでひさしA側をビス止めしてしてください。




## ■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。


**新日軽株式会社**　この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。　お客様相談室　0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ　http://www.shinnikkei.co.jp